

イドスク（買い物弱者支援） イメージ図

☆買い物弱者支援

- ・ パソコンとカメラ等で産直にある野菜や惣菜、パンなどをリアルタイムで映し、注文を取りまとめ次第、会場へ商品を配送。
- ・ 産直以外の地元商店が協力してくれることで商品の幅（野菜以外の肉や魚、調味料や菓子や日用品など）が広がり利便性を向上。
- ・ 移動手段、買い物支援運営会場は、社協の運営するサテライト事業の送迎車と会場を利用。
- ・ 利用者と商品は玄関先まで送迎。

地元商店が(販売)協力。

魚・肉・日用品等、
産直で準備が不可能な商品を提供。

地元商店

顧客の要望に即して、映像を撮影。
注文を受けて商品を準備。

産直ともちゃん

商品を取りまとめ会場へ配達

受付員が
会場設営

受付員が顧客の要望を伝達。
注文を取りまとめて発注。

小友地区センター
(社協・サテライト事業)

9時～15時

社協の車で送迎。
商品の搬送支援。

☆地域住民、家族間の交流

- ・ 会話を楽しみながらの買い物が可能。地域コミュニティの強化を実現。
- ・ 買い物弱者支援だけでなく、友達との交流、生きがいづくりを支援。
- ・ 家では役割が無くなりつつある高齢者もあるが、家族に買い物を任されて来ることにより、家族の一員として自信を取り戻した人も。

小友町住民